

🚗 ○ 木次線に乗ろう！

木次線でおためし通勤・通院

定期券
回数券

定期利用 モニター募集

JR木次線の新規利用者の掘り起こしや利用上の課題を把握することを目的として、新たにJR木次線を利用して通勤等を行い、かつモニタリング調査に協力していただける方に対して、予算の範囲内において通勤定期券又は普通回数乗車券の購入経費等の一部を助成金として交付します。なお、助成金を交付した助成対象者に、地元産品等の謝礼を進呈します。

JR木次線でおためし通勤！

沿線4市町でつくる木次線利活用推進協議会では、新たにJR木次線を利用して定期的(約1か月間)な通勤をし、かつアンケート調査にご協力いただける方(高校生以下を除く)を募集しています。
最寄り駅からの通勤、通院等に係る、普通回数乗車券(11回分)または定期券(1カ月)を全額補助します。
助成金を交付した対象の方には、地元産品等の謝礼を進呈します。
募集期間は9月末までです。
なお、期間中は、町職員も一時的な時差出勤制度により利用促進を図ります。
詳しくは、下記までお問い合わせください。

9月末まで
定期モニターを
募集しています

お問い合わせ 木次線利活用推進協議会(事務局:地域づくり推進課)
ホームページ: <http://kisuki-line.jp>
有線: 31-5264 電話: 54-2524 FAX: 54-0052

もっとつながる木次線 検索

有害鳥獣の捕獲・駆除実績

地域	ニホンジカ	イノシシ	カラス	サギ類	その他
仁多地域	0	13	35	9	32
横田地域	1	29	18	12	13
合計	1	42	53	21	45

町では、有害鳥獣捕獲班の皆さんに有害鳥獣を捕獲・駆除していただいております。
令和3年4月の捕獲・駆除頭数実績をお知らせします。
※その他は、タヌキ・アナグマ等の合計です。
有害鳥獣による農作物被害がございましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ】 農業振興課農業生産グループ 有線: 31-5285 電話: 54-2513

10校区代表の皆さんへ 小学校再編にかかる町の考え方について 勝田町長が自ら説明 ~第1回校區別協議会 代表者会議 開催~

5月27日、カルチャープラザ仁多農事研修室において、町内10校区の代表者32名に参加いただき、第1回となる校區別協議会代表者会議を開催しました。
勝田町長自ら小学校再編の考え方を説明した後、5月18日に開催された令和3年度第1回奥出雲町総合教育会議での協議内容を踏まえ、教育魅力課から各校校區別協議会へ対応をお願いする内容の説明等を行いました。

町として提案している内容

- 令和7年4月に小学校を仁多地域1校、横田地域1校に再編する。
- 仁多地域統合小学校の建設候補地は、現三成小学校敷地とする。
- 横田地域統合小学校は、現横田小学校校舎及び敷地とする。

現三成小敷地
(現校舎を解体し、新築を想定)

現横田小敷地
(現施設を基本に、必要な改修を想定)

町から各校校區別協議会へお願いしている内容

- 令和4年3月までに町の提案内容(仁多地域1校、横田地域1校に再編)に対し、校区として「同意する」または「見送る」のいずれかの意向を取りまとめる。

今後、各校区と町とで意見等をやりとりしながら再編協議を進めることとなっています。

町長の説明から(要旨)

小学校再編についてまずお伝えしたいのは、町としては子どもたちの教育環境をどうすべきか検討を重ねた結果、子どもたち同士が学び合う環境を今後も確保するために必要な手段であるとの認識のもと、みなさまに小学校再編を提案させていただいているということです。

コロナ禍の現状では、密にならない小中規模学校のメリットを実感されている方や、GIGAスクール構想をはじめとするICT機器活用に大きな可能性を感じる方がいらっしゃるのも理解できます。
しかしながら、どのような時代が来ようとも、様々な考えを持つ他者と接することで得られる多様な体験、経験が社会生活を営む上で不要になることはなく、むしろその重要度は今後、更に増してくると認識しています。
町として、そのような子どもたち同士が学び合う機会をどうやって確保していくのかを考えた結果、仁多地域1校、横田地域1校での再編をすることにより、その実現の可能性を持続できるという考えに行き着きました。

今回、町として仁多地域1校、横田地域1校の再編について提案させていただいていますが、校区の皆様にはこの提案に同意いただくか、それとも見送るかを今年度末までのところで検討いただき、その意向を示していただきたいと思っております。町としては、全ての校区に同意いただき再編をすすめることが子どもたちにとって最善であると考えております。

校区の皆様にとってはかなりのご負担があらうかと思いますが、なにとぞ子どもたちの未来のためにご協力いただきますようお願いいたします。